Sojo Project F

2025年7月
活動報告書

校名:	崇城大学
チーム名:	Sojo Project F
FA:	生田 幸徳,内田 浩二
TL:	林　龍明

【目次】

- 大日程――p.3
- チーム体制――p.4
- チームメンバー写真――p.5
- 各パート進捗状況
  - ・フレーム――p.6,7
  - ・足回り――p.8,9
  - ・パワートレイン――p.10~12
- 試走会について――p.13
- 支援企業一覧――p.14

【大日程】

現在、以下の大日程で行っております。

項目	日程	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
設計	9月24日~12月25日													
パッケージングレイアウト	12月23日~1月15日													
学内製作部品図面作成	12月17日~3月4日													
学外注文部品図面作成	12月17日~1月31日													
フレーム製作	9月26日~1月31日													
足回り	1月7日~4月10日													
エンジン回り	1月7日~4月10日													
カウル・ウイング	2月3日~7月25日													
新しいエンジンの供給予定時期	3月末~4月末　予定													
資料製作														
SES（等価機械計算書）審査	2月11日~3月4日　3月6日締切													
デザインレポート、スペックシート	5月12日~6月4日　6月5日締切													
コストレポート	3月6日~6月17日　6月19日締切													
車両組立	3月17日~4月28日													
シェイクダウン完了	5月1日　予定													
試走&検証	5月10日~8月30日													
改善&調整	5月10日~9月4日													
事前書類提出	8月26日　提出完了													
第22回全日本学生フォーミュラ大会	9月8日~9月13日(予定)													

【チーム体制】

4年 林
プロジェクトリーダー

4年 廣瀬
サブリーダー

4年 廣瀬
2年 宮本
マネジメント

4年 時松
4年 廣瀬
2年 河野
2年 髙﨑
1年 宮崎
1年 阪本
1年 後藤
足回り班

4年 中島
4年 高山
2年 蒲地
2年 小島
1年 春日
1年 野仲
1年 牧之段
フレーム班

4年 林
4年 西島
4年 赤星
3年 岩城
2年 下馬場
2年 宮本
2年 猪口
1年 HARUN
1年 石炭
1年 岡田
1年 藤波
エンジン班

【チームメンバー写真】

第22回 学生フォーミュラ日本大会 2024 Formula SAE Japan
TOYOTA
C46
Sojo Univ.

【フレーム班】

　フレーム班はシートのGFRPを用いた積層を開始し、無事にシートを完成させることが出来ました。
　シートの製作が完了したことにより、実物のシートを用いたシートベルトマウントの位置出しが可能となり、シートベルトマウントの位置出し、溶接を完了いたしました。
　そして、フロントウィングのマウントを製作し、フレームへの溶接も完了いたしました。

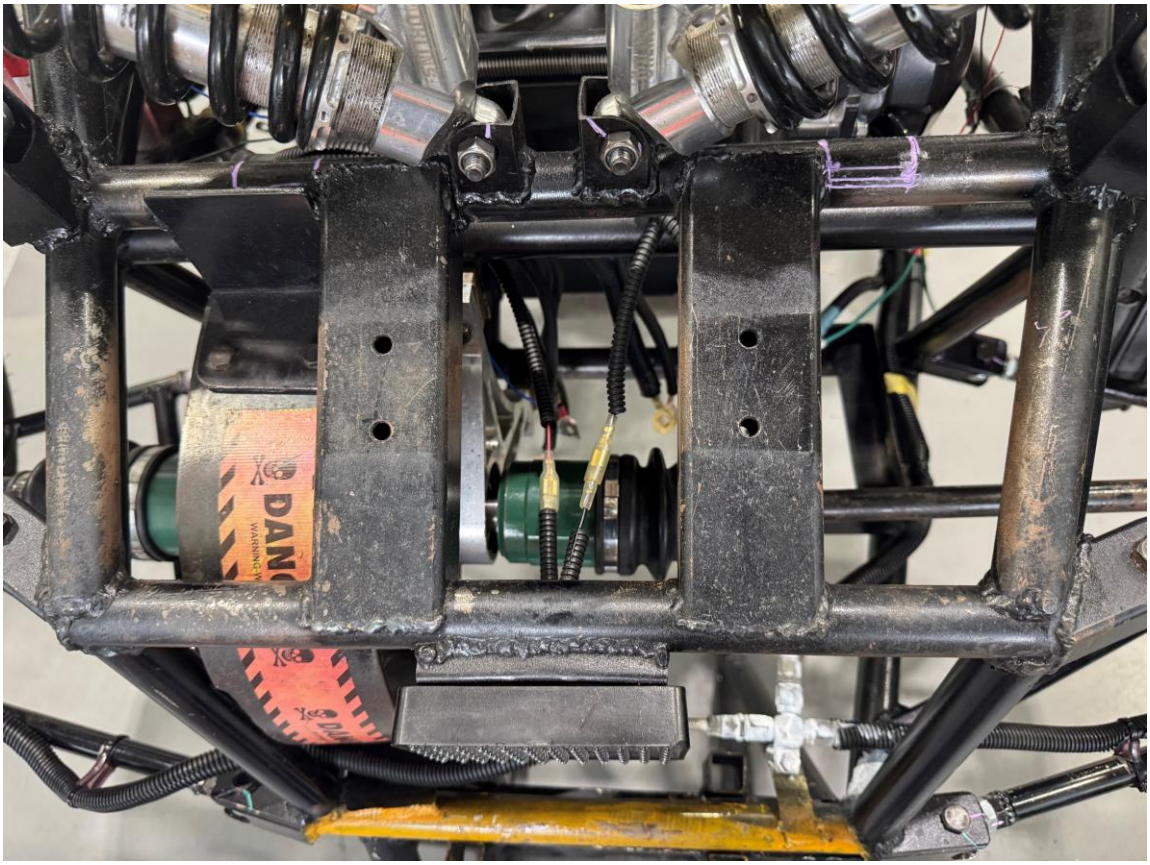
【フレーム班】

8月の予定といたしましては、残りのリアウィングマウントの製作、溶接を行います。

そして、新規製作予定だった部分のカウルを製作する時間がないと判断し、昨年大会会場でドライバーの脱出審査の際に破損してしまった部分の修復を行います。

【足回り班】

足回り班は新規製作予定だったスタビライザーの製作を開始し、マウントについては製作し、フレームへの溶接も完了することが出来ました。残りのパーツにつきましては現在製作中です。



【足回り班】

　8月の予定としては、スタビライザーの製作、搭載をし、試走を繰り返し、検証を行っていきます。
　更にアライメントにつきましても、試走を繰り返し、アライメントの確定を行います。

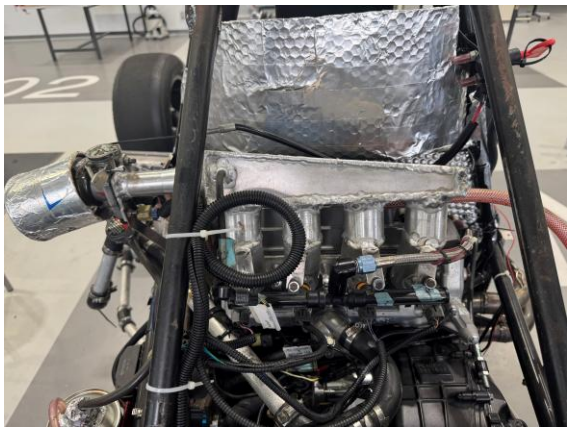
【エンジン班】

　エンジン班といたしましては、コロナウイルスでの活動再開後に試走をあまりできていなかったため、燃料調整についての知識があまりなかったため、燃料調整の勉強を行いました。
　そして、室内でのアイドリング等についての燃料調整の勉強の際には調子よくかかっていたのですが、第２回学内試走会の際に屋外でエンジンを掛けようとすると上手く始動することが出来ませんでした。更に第１回学内試走会での走行後すぐには再始動出来ない問題についての原因究明についても、答えを出すことが出来ませんでした。
　しかし、部員内での考察で、吸気温センサを燃料タンクの辺りにおいてしまっていたことや、事前の燃料調整を行っていた場所が屋内のエアコンが効いている場所で行っていたため、屋内と屋外での燃料調整を考えることが出来ていなかったこと等が挙げらえれました。

【エンジン班】

　更に、今年の新造を予定しております、サージタンクの製作を完了させ、実際に車両に搭載しましたが、搭載後はテスト期間に入り部員が集まらないため、１度も試走を行えておりませんでした、しかしアイドリング時は燃料調整を行いながら検証を行っております。
　そして、電装の配線見直しを行い、今年度から油圧計と油温計を取付けたため、ダッシュパネルをアクリル板を用いて新規作成をおこないました。

SPF-018



SPF-019

【エンジン班】

8月の予定といたしましては、新規作成を行ったサージタンクを使用した試走を行うことが出来ておらず、検証をすることが出来ていないため、試走を繰り返し、燃料調整を行いながら検証を行い、同時並行で再始動についての原因究明を行います。

更に今年度は電装でデータロガーを搭載しようと考えており、現在製作中であり、８月に製作し、実際に搭載を行いたいと考えております。

【試走会について】

7/21（月曜）に第２回学内走行会を行いました。

第２回試走会は燃料調整の勉強と、第１回試走会で問題となった再始動時にエンジンが始動しないことについての原因究明を目標とし、試走会を行いました。

結果的に、再始動時出来ない問題の原因はまだ明確な答えを出すことが出来ませんでした。

しかし、原因についての考察はいくつか出たため、考察した原因について一つずつ検証を行い、原因究明を引き続き行っていきます。

【支援企業一覧】

・本田技研工業株式会社 様
・ソリッドワークスジャパン株式会社 様
・AKKODiSコンサルティング株式会社　様
・協和工業株式会社 様
・株式会社エフ・シー・シー 様
・不二ライトメタル株式会社 様
・株式会社戸畑製作所 様
・熊本アイ・ビー産業株式会社 様
・株式会社ホンダテクノフォート 様
・株式会社深井製作所 様
・株式会社マイナビEdge 様
・キノクニエンタープライズ株式会社 様
・サイバネットシステム株式会社 様
・日信工業株式会社 様
・石原ラジエーター工業所 様
・住友電装株式会社 様
・株式会社池松機工 様
・株式会社アネブル　様
・株式会社RPV　様
・ニュートンワークス株式会社　様
・パーソルクロステクノロジー株式会社　様

（順不同）